

大きくなるためのお米

さいたま市立大谷口小学校 三年

児 玉 蒼 真

夏休みに、ぼくが赤ちゃんの時のアルバムを見ました。アルバムには赤ちゃんのぼくが、何かを食べている写真がありました。ぼくが

「これはお湯をのんでいるの。」

と聞くと、お母さんが

「これほりにゆう食というのだよ。うまれて初めて食べるりにゆう食は、お米をおかゆにしてつぶした物。

次はおかゆ。その次はやわらかくたいたごはん。一才から一才半くらいになると、みんながいつも食べているごはんを食べられるようになるのだよ。」

ということを教えてくださいました。

ぼくは、赤ちゃんの時はあまり歯がなくて、お米を食べられないと思ったけれど、お米をおかゆにしてつぶした物なら、やわらかいから食べられるということを知りました。

それから、うまれてはじめて食べる食べ物はお米で、今でもお米を毎日食べているので、ぼくたちが成長するためには、お米はとっても大事な物なのだと思います。

この話をお父さんにすると、お父さんから

「お米の米という字をぶんかいすると、八と十と八という字になるね。お米を作るには八十八のおおくの手間がかかるといわれているのだよ。あとお米にはえいようがたくさん入っているのだよ。」

と言われました。

その話を聞いて、幼稚園でお米の苗を植えた時のことを思い出しました。葉っぱを持つとおれてしまうので、苗の下の方を持ってゆっくり植えるということなどを教えてもらいました。苗を植えるだけでも気をつけることがたくさんあってとても大へんでした。

ぼくはお米が大好きで、いつもおかわりをしておなかいっぱい食べています。これからも、毎日大好きなお米を一つぶ一つぶ大切にのこさず食べて、元気にグングン大きくなりたいです。